

**吉田財団設立40周年記念事業**  
**令和7年度 特別助成金 活動報告書**

公益財団法人吉田学術教育振興会

理事長 山倉 修一 殿

助成事業の名称	(全日制)大川組子の制作 (定時制)生活体験発表会地区大会や生徒会主催の学校行事の運営			
学校名	福岡県立大川樟風高等学校			
学校長名	堤 英紀			
報告者	(全日制) 教頭 緒方 秀政 (定時制) 教頭 原 健二郎			
事業の目的	1.(全日制)地域の伝統や技術に触れ知識や技能を深め進路意識の高揚を図る。 2.(定時制)諸活動の運営や学校行事への参加を通して主体性の育成を図る。			
実施日(期間)	(全日制) 令和7年12月3日 (定時制) 令和7年9月13日(土)、令和8年2月6日(金)			
行事・活動の内容	1.(全日制)地元の高度熟練者による実践的な実習指導を受け、伝統工芸である大川組子の技術に触れ、組子作品の制作を行う。 2.(定時制)生活体験発表会地区大会の運営や生徒会主催のレクリエーション大会を行う。			
対象者・人数	(全日制) 住環境システム科1年生 24名 (定時制) 全校生徒 16名 (1年 3名 2年 8名 3年 5名 4年 在籍なし)			
目標達成の状況	1.(全日制)自ら組子を製作して、伝統技術の素晴らしさに気づき、工業高校生として今後の進路選択の重要性に気づくことができ、進路意識を高めることができた。 2.(定時制)生徒会役員が中心となり他の生徒をまとめ、準備段階から当日まで運営をやり遂げることができ、生徒会活動の活性化を図る機会とすることができた。			
教育的効果・成果に対する初見	1.(全日制)「ものづくり」への興味関心と知識・技術の技能の向上及び、地場産業への理解の深化が図れた。 2.(定時制)両行事とも他の生徒と協力して積極的に自分の役割や責任を果たす様子が見られ、自主性や協働性を育む機会とすることができた。			
3年先の姿(希望)に向けた活動計画	1.(全日制)ものづくりの充実を図り、専門的知識と技術の向上を目指すと共に、これらを活かし、地域や地場産業への貢献を期待し、地域の活性化に寄与する。 2.(定時制)今回の機会を契機とし、一層自主性や協働性、社会性の育成を目指し、地域で活躍する人材の育成に繋げる。			
経費区分	合計金額	会計報告		備考
		助成金	自己負担	
材料費等	260,000円	260,000円	0円	(全日制)組子材料費
交通費等	58,300円	58,000円	300円	(定時)会場までのバス代
学校行事費等	21,750円	12,000円	9,750円	(定時)学校行事の補助
合計	340,050円	330,000円	10,050円	

※ 助成金の使途については、領収書(写し可)を任意の台紙に添付して、ご報告願います。

## 活動状況の写真等(当日の様子など)

### 【全日制】大川組子の制作風景



### 【定時制】

(1) 筑後地区生活体験発表会の運営の様子(令和7年9月13日(土)実施)



(2) レクリエーション大会の様子(令和8年2月6日(金)実施)



今後の活動見通し・課題

### 【全日制・定時制】

御会助成により、全日制・定時制それぞれで実施した教育活動は、当初の目的を達成することができた。これらの教育活動を継続するには、予算確保に課題が残るが、工夫して継続することで、本校の特徴ある教育活動として定着させたい。

